

土木学会
選定映画報告

(7)
視聴覚教育委員会

1. 第13回選定映画審査会報告

日時：昭和46年6月12日(土) 14.00~16.30

上映本数：3本

審査の結果次の2編が選定された。

2. 選定作品

海をひらく傾斜沈埋函

(カラー・16mm・スタンダード・30分)

企画：株式会社間組名古屋支店

製作：光映プロダクション

製作意図

火力発電所の冷却水の取水設備のうち約16°の急勾配に設置された沈埋函の製作・曳航・沈設工事を記録したものである。

内容梗概

ドライドック(現場にて建造)内にて沈埋函を構築し、浮上曳航して沈設工事を行ない、取水口構造物(すでに完了)とのドッキングおよび継手工(ニューマチックケーソン工法)について記録した。特にゴムガスケットによるドッキングは水中撮影により詳細に記録した。約16°の急勾配に設置したため施工上の問題点につき線画で説明を加えながらできるだけわかりやすく解説を行なった。

沈埋函工法によるトンネルの施工は鉄道、道路等においてもいくつかの施工例はあるが、これは中部電力(株)の水路トンネルとして約16°の急勾配に設置したコンクリート製沈埋函の施工例である。この映画では、コンクリート沈埋函の製作から浮上沈設まで詳細に記録されており、急斜面に沈設した際のドッキングおよび継手工が見所である。

いままでのこの種の映画では水中撮影があまり良く記録されたものはなかったが、この映画では、きれいな水

中撮影をしていた。しかし、残念なことには局部的な画面であったのもっといろいろの角度から撮影して全体的に見せてほしかったという観客の声が多かった。

技術者用のPR映画として広く利用されることをすすめたい。

静かな破碎—TN制御発破工法—

(カラー・16mm・スタンダード・23分)

企画：大成建設株式会社

製作：日本映画新社

製作意図

火薬利用による、新しいコンクリート破碎工法の安全性、能率の良さをやさしく紹介。

一般および工事施主を対象。

内容梗概

近年、コンクリート構造物の破碎工事が重要になってきたが、これはきわめて困難であり、騒音、危険を伴なう。コンクリートをこわす方法にもいろいろあり、一長一短だが、巨大なエネルギーをもつ火薬利用が最も能率が良く経済的である。そこで、当社では、従来の円滑発破技術に着目し、大成式制御発破工法を開発、これに適した新火薬の利用によって、安全で能率の良い破碎を行なっている。

この映画では、いろいろな破碎工法とともにいくつかの実例を紹介している。

最近の過密化した都会は改築改良工事が急速に進められ、旧コンクリート構造物の取りこわしはあらゆる所で見られるようになった。また、その破碎工事に伴う騒音振動および危険性は特に公害として問題化され、施工者にとっては大きな悩みとなっている。この映画は、それらの破碎工法の例を多く紹介しそれぞれの長所短所を比較し、そのなかで新しい火薬による破碎工法を紹介している。このTN制御発破工法は、現代の都市開発において最も必要とされる騒音振動の少ないものであり、また、安全で能率の良い優れた工法と思われる。この映画は、一般および工事施主を対象としたもので、映画としても見やすく良くまとまった優秀な映画であった。

以上の映画を利用されたい方は下記へお問合せ下さい。
海をひらく：(株)間組(東京都港区南青山1の1の1
03(402)8171)
静かなる破碎：大成建設(株)(東京都中央区銀座2の5の11
03(567)1511)

アルミナセメントに関するシンポジウム講演概要頒布

1. 体裁：B5 40ページ オフセット印刷

2. 頒価：500円(〒50円)

3. 内容：昭和46年6月16日開催の標記シンポジウムの講演概要でアルミナセメントまたはアルミナセメントまたはアルミナセメントコンクリートに関する研究20編(1課題 2ページ)を収録。